

患者会へのニーズ調査報告

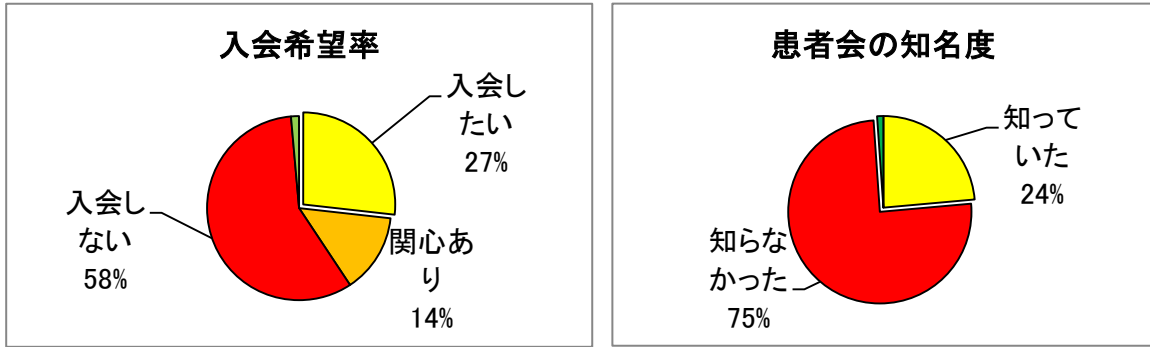
1. 実施状況

実施時期 平成27年10月27～30日

対象者 府立成人病センターの外来患者1386名 回答者938名（回答率68%）

実施者 府立成人病センター相談支援センター及び口腔・咽頭がん患者会

2. 入会希望者が少ないのは、患者会の存在を知らない人が多過ぎることに原因がある

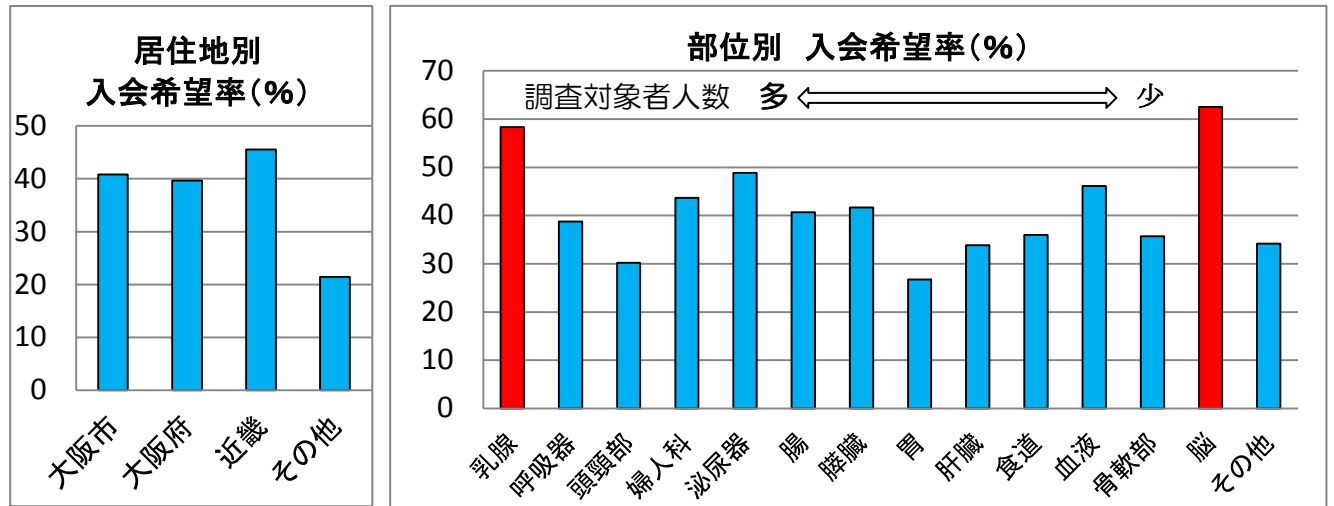


（課題）患者会・サロンなどの周知が先決である ※癌研有明病院 入会希望率60%

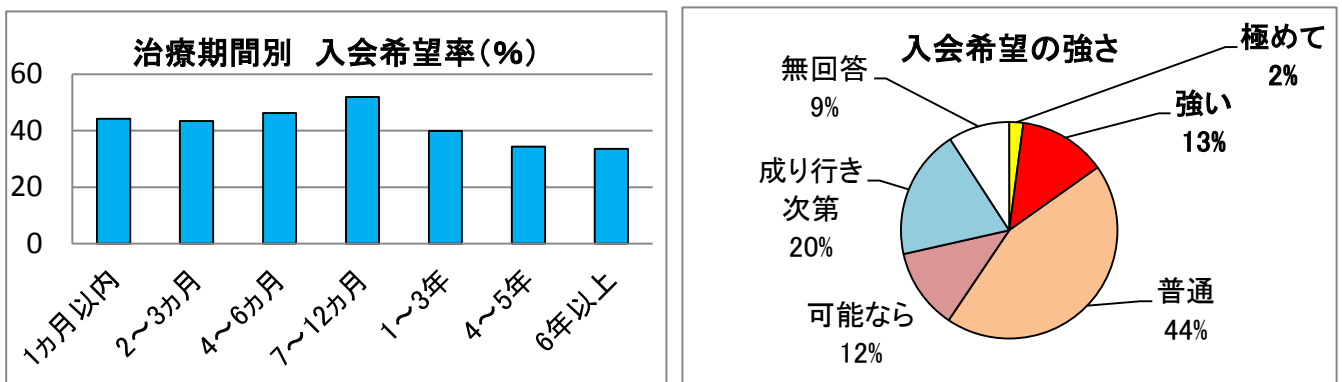
3. 患者会への入会を希望している人とは、どんな人達なのか？（入会希望の強さの比較）

居住地による入会希望率（その居住地の人の中での希望者の比率）にはあまり差がない。

脳腫瘍と乳がん患者の入会希望率（同じ疾患の中での希望者比率）が目立って高かった。

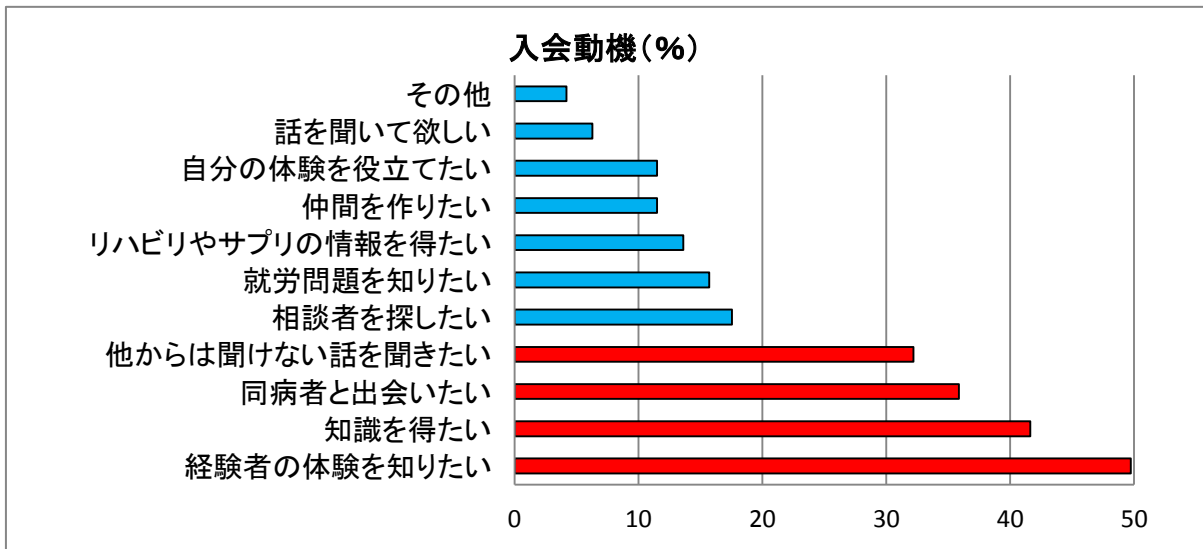


治療期間が1年を超えると入会希望率が漸減する。入会希望の強さが特に強い人が15%も居る。



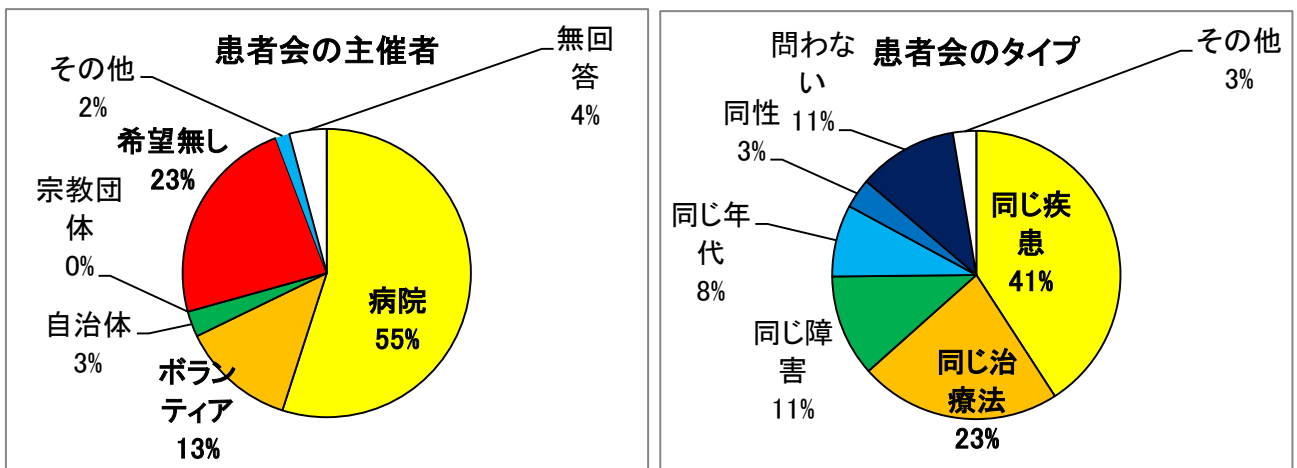
4. 入会希望者の入会動機

「がん体験者にとって情報を得たい」ということが主たる入会の動機であった。
就労問題を知りたいという人は、あまり多くはない。



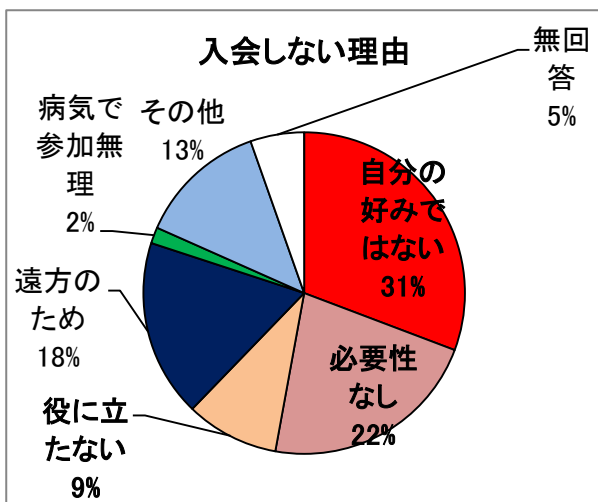
5. 入会希望者は、どんなタイプの患者会を望んでいるのか？

(結論) 病院が主催する疾患別・部位別の患者会が望まれている



6. 入会しない理由

患者会を知らないが故の誤解が多い？



7. 患者会以外の関心事

医療者からの助言を求める声が圧倒的に多い

